

英知 校訓
礼節 磨

令和3年度

足立中通信



北九州市立足立中学校 発行責任者 校長 有松 洋和 No.8 <学力特集号> 11月10日発行

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日(木)に、3年生を対象として、「教科(国語, 数学)に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

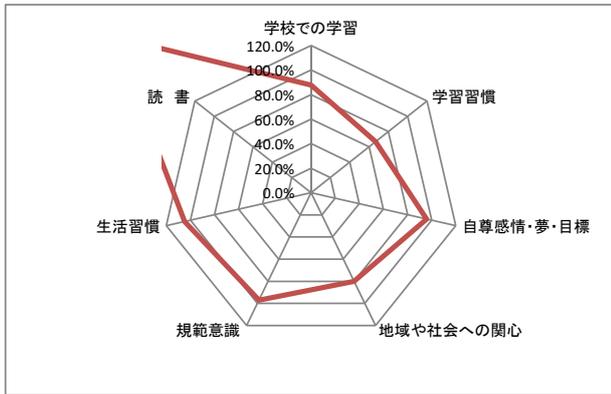
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語	学習領域「読むこと」や評価の観点「読む能力」について、課題がある。 「伝統的な言語文化に関すること」「言語についての知識・理解・技能」については、全国と同程度である。	下回っている
数学	学習領域の「図形」や「数学的な見方や考え方」について、課題がある。 また、選択式や短答式の問題に対し、記述式の問題を苦手としている。	下回っている

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析

- ・「毎日同じ時刻に寝る・起きる」「朝食を毎日食べる」など、基本的な生活習慣の定着について、全国を上回っている。
- ・読書をする割合が大幅に増加し、全国を大幅に上回っている。
- ・「家庭での学習時間」や「自分で計画を立てて勉強する」など、学習習慣の定着について、全国を大幅に下回っている。
- ・「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標を持っている」など、自尊感情を持つ割合が全国を下回っている。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

・自分の思考を深め広げたり、考えをまとめ発表したりする力を育てるために、「考えを書く活動」「話し合う活動」「考えを表現する活動」を授業展開に必ず位置付ける。

② 家庭生活習慣等に関する取組

・計画的な学習が習慣になるよう、まず、家庭との連携により、定期考査前の学習計画づくりの指導を強化する。また、中・長期的な見通しをもち、夢や目標を見据えて努力できるよう「キャリア教育」を充実させる。